

武儀郡關町は激震と共に數百の家屋急ち崩潰し百餘の死傷あり次て三ヶ所より同時に火を發し燒失戸數九十餘  
各務郡鵜沼は家屋の崩潰三百餘戸にして全存するもの僅に二戸死傷三十餘人あり  
其他各町村落被害の景況は一々枚舉するに遑あらずといへども姑らく茲に之れを略す

### 第三編

#### 濃尾地震 (下)

#### 第十八章 愛知縣震災

震動の觀測及び回數 明治二十四年十月二十八日午前六時三十八分五十秒突然大地震動す其方向は南々東北々西にして初發より最も強烈の性質を帯び名古屋測候所の報告によれば地震計は中途にして破損し最大の動力を器械の上に顯すこと能はずといへども破損迄に顯はれし現象の實動は地上の物體を衝擣げしこ

と曲尺二分水平に動搖せしこと曲尺九分にして此加速度は實に上下動二寸水平動一尺八寸五分ありと亦以て其物體を倒壞せし力の強烈ありしことを追想するに足れり

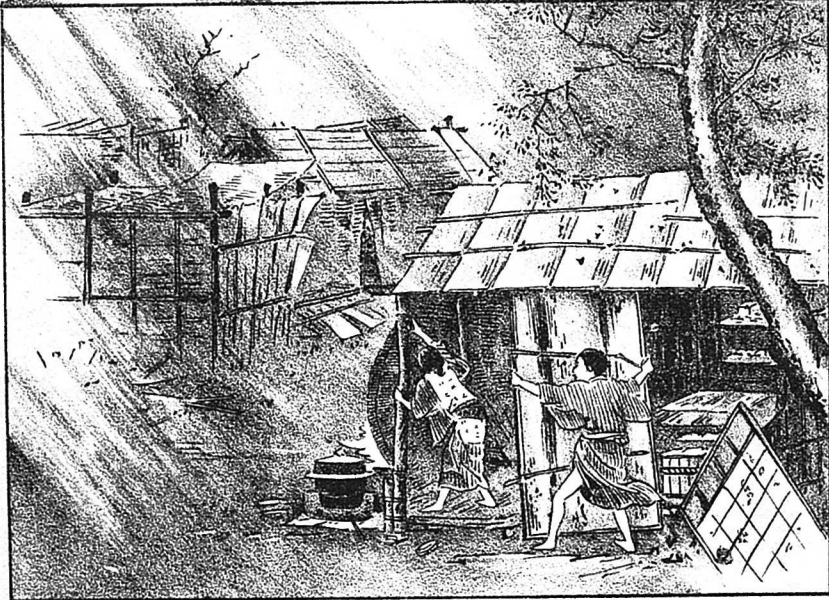
又二十八日の大震後數月間の震動回數を聞くに發震より同日の午後一時迄は大地の動搖間斷なく夫れより斷續一時間に八九回乃至十二三回の割合を以て震動間々強震を交へ來りて人心恟々悉く難を屋外に避け殆ど世界の滅亡を感するものと如し翌二十九日より十一月三日頃迄は一時間平均五六回乃至七八回の震動あり四五日より十四五日迄は一時間一回とあり漸次に減少して三時間に一回又は一日一回震動の割合とあり十二月中旬以降は毎日又は四五日に一回とあり年を越へて明治二十五年一月三日午後四時に至り遽然強烈震あり實に十月二十八日の大地震に亞ぐ此震動は名古屋近傍を最も甚しとし土砂噴出支柱外つれ或は屋瓦の落ちし處あり爾來數日間に一二回の動搖ありて二月五日に至り震動の回數は總計千五十四回を數ふるに至るも尙ほ未だ休止せず時々震動せりといふ被害の一斑 二十八日午前六時過ぎ劇震の初めは大半寢を起き業に就くの前恰

も炊烟四方に揚るの時にして朝食を喫了せしものは僅少ありし頃あり況んや夜業に従事したるものゝ如きは未だ臥床中あるの状況あるに突然此猛烈劇越の震動を起し家屋を倒壊し人畜を死傷し洋々たる和氣瞬時に變して愁傷悲歎の暗黒界とある加ふるに火焰の倒屋の下にありて漸々瀰蔓せんとするもの其幾十個所あるを知らず然れども各自避難救護に周章し目前の火氣を撲滅するの氣勢あく適々これを消さんとするものあるも如何せん井水埋没し器具亦毀損し西春日井郡西枇杷島町は遂に五十餘戸を延焼するの不幸に遭へり其他は名古屋市を始め各郡に於て二戸乃至八九戸の焼失あるも幸に大火を免れたるは此際に於ける至幸と云ふべし中にも清洲町の如きは其將に大火に至らんとするに先ち町民中重立ちたるものゝ發意により金百圓を懸賞して消防夫を募り僅に二戸の焼失にてこれを防禦せりといふ臨機之處置奇効ありと云ふべし

又此震動の爲め一瞬間地盤の裂罅陷落又は隆起をみし水砂を噴出し或は橋梁道路の損壞するもの其數を知らず甚しきは堤防筋にある家屋の如きは地盤と共に崩壞するものあり今其變状の一斑を左に掲ぐ

- 一 道路堤防は廣狹に拘はらず概して縱裂にして長短深淺一定あらず
- 二 家屋倒潰は方向定まらず煉化土藏の構造及び瓦葺等は崩壞多く藁屋根の如きは原態を存するも柱折れ壁倒れて潰れ居れり
- 三 堤防其他人工築立の處は殆んど崩壞せざるものあく從て堤防の上又は堤防に沿ふたる家屋其他の構造及各川の架橋は最も甚たしく毀損せり
- 四 道路を横切る架橋は橋臺突出したるもの多し概して川床の隆起したるものあれども中には道路の陥没したるもの少あらず而して石橋は交通を絶ち木橋は橋柱破折したるに止まりたるもの多し
- 五 大小の川床用水床は凹凸最も甚たしく水利を變じたるもの多し水曾川の如き大川の砂地の如きは春水の候にあらざれば水瀬變更したる場所を知るに由あしと雖ども必ず至大の變狀を見るあらん
- 六 畑地は田地と地盤を平均し又は却て陷落したるもの、田地にして畑地の如く隆起したるもの、畦畔及里道の如きは田地よりも低下したる如き異狀あからず





土陥及災後風雨ノ患ル實況

七 井水は一時混濁したること比々皆然らざるをいし古井にして曾て乾涸した

るもの今回清水を噴出し再用とありたるもの新井却て乾涸し不用とあり  
又は全く埋没或は一時噴水溢出したるものあり比隣其状を一にせず

井水の冷温を感じたるもの多くあるを聞かずと雖ども愛知郡岩塚村山田

權三郎方の井戸は大震の翌日微温湯とあり呑むに加減能く身體を拭ふに

恰好せり三日目に至り冷却す尤も臭氣あかりしと云へり

各工場概況 名古屋紡績會社は総操場凡そ百坪、大工小家一棟、鍛冶小家一棟

烟突二本崩壊し器械等は凡そ一割程を損せり役員及び職工共死傷をし一二箇

月を經は執業するを得へし

尾張紡績會社は工場凡そ半分許落棟し其他破損多く烟突崩壊し器械過半破損せ

り役員技師等死傷あきも職工は即死三十五人、負傷百二十三人、内七十五人

入院外に生死未詳一人あり斯の如く工場及器械破損甚しきを以て再び業に就

くことは蓋し容易にあらざるへし

セメント會社熱田にありは機械室烟突崩壊し竈は悉皆破壊せり役員及技師等は

死傷あきも職工一人即死し負傷は未詳あり執業は容易に爲し得ざるへし

煉石社煉瓦石製造は竈悉皆崩壊せり容易に執業し得ざるへし

佐々組(飛白製造)は工場一棟崩壊死傷あし凡そ十日間を経ば就業するを得べし

電燈會社は烟突崩壊機械室破損せり執業は容易にあらざるへし

物産組絹綿縞織場(殆ど無事にして營業上故障あし

松村工場(陶磁器製造)は陶窯烟突崩壊せり

右の外瀬戸村は陶器館を始め陶磁業者の製品を破壊せしこと夥しく殊に陶窯は

大抵崩壊若くは破損し本年中は逆も就業覺束あし又知多郡常滑村の陶窯は概ね

破壊し製品亦多く破損せり又中島郡の如きは震災最も甚しかりしを以て同郡數

多の織物は當分産出し得ざるべしと

愛知縣廳の措置 今回の震災に關する愛知縣廳の措置は概略左の如しと

去月二十八日午前六時三十分五十秒俄然未曾有の大地震ありて家屋の顛倒人畜

の死傷少からず加之名古屋市内には數箇所に出火あり實に市民の狼狽市中の混

雑筆紙の能く盡す所にあらず縣官警察官等自己の家宅は顛倒せしも幸に死亡負

傷者あらざりしを以て孰も直に出廳し非常の事務に鞅掌す而して警察官吏は此劇震一瞬時の間に於て四方に馳せ悲叫救助を乞ふ者狼狽避途に迷ふ者を保護し出火を消防し負傷者は愛知病院、好生館及名古屋警察署、聖徳寺等に病院出張所を設け急難治療所とし、名古屋、熱田、枇杷島、清洲等の患者を三箇所へ送致し一方壓死者を發掘せしむる等甲を救へば乙を失ふの恐ありしも緩急を圖り前後を斟酌し百方盡力せしむ加ふるに宏壯ある郵便電信局は破壊して通信の便を缺くを以て速に之が開通を計るの急務あり警部長は急馳して第三師團司令部に至り共事情を參謀官に談ぜしが會々師團長既に其計畫あるに際し直に工兵を派し諸器械、信書郵便切手局員の死屍を發掘するあり次いで第六聯隊第十九聯隊は師團長の命に依り兵員を部署して市内を警邏し非常を警戒せり名古屋監獄署は殊に破損多く且つ震動の歇まざるを以て一時囚人を監房前の空地に移し露宿せしむ然れども脱監の恐あるを以て第三師團憲兵等の出張を乞ひ警戒を嚴重ならしめたり而して西春日井郡枇杷島は被害頗る多く且つ出火の急報に接す依て警察官、縣官、消防夫を派出し事に急救に従はしむ其他管下各郡へ僚屬を分配し即時直に出張せ

しめ郡役所と議し臨時の措置に従事せしむ而して震動は殆ど間斷なきを以て縣廳に於て事務を執る能はず假に縣廳構内に事務所を設け縣廳職員を分ち救助衛生土木庶務報告の委員とし専ら震災の事務に執掌せしむ此災變のため電信并に瀛車は不通と爲り急を報ずるの便を失ひ已むを得ず郵便を以て此變事を内務大臣に上申せり午後六時に至り電報漸く貫通せるを以て直に内務大臣に急報す此變事に乘し奸商輩は叨に米穀木材其他日常必需の物品をして高價あらしめ非道の私利を營み被害人民に困難を與へんことを恐れ之を制止せんがため懇篤諭達を發し又奸辯者空想を畫き浮説を唱道し爲に人心恟々たるを以て慰撫安穩せしむるの諭告を發せり又名古屋市役所西春日井郡役所は被害人民に焚出行届かず殊に西春日井郡は米の回送を急報す依て僚屬に命し米を購買せしめ更に僚屬を増派し米の運搬竝に炊事に従事せしめたるも縣屬郡書記にては力及ばざるを以て第三師團に乞ひ輜重兵の派出を得て炊事行届き漸く被害人民の飢餓を糊するを得たり又愛知郡葉栗郡中島郡も米の回送を報す依て僚屬を派し購買竝に運搬に従はしむ發震の當時失火は名古屋市外郡村數個所に起りたるも警察官消防夫

の力を以て消止めたり然れども枇杷島は名古屋に接續の地にして時に西北の風強く或は名古屋市へ延焼を恐れ第三師團に兵士の出張を請はんとせしが師團に於ては既に出張の準備中あるを以て直に出張を得僅に之を消止めたり此消防に附きては工兵大尉飯田耿介工兵中尉吉田秀巍最も盡力せり又名古屋市琵琶島熱田等の負傷者は愛知病院並に好生館私立病院に於て治療せしめ且つ高等醫學生徒四五人を一隊とし都合三隊を分派して市中を巡回せしめ負傷者に一時の救治を施せり愛知病院に於ては負傷者を入るゝの場所あきを以て第三師團より天幕數十張を借受け負傷者に雨露を避けしめたり而して各被害郡村中枇杷島清洲一の宮起、萩原、稻澤、津島、岩倉、小牧、小折、犬山へは醫員に生徒を隨へ出張せしむ然れども負傷者多くして急を救ふに足らず依て中央赤十字社に醫員看護婦の出張を請ひ又赤十字社愛知支部の醫員を招集し被害郡村へ派出せしむ然れども郡村にありては醫員の派遣を請ひて止まず依て額田郡長に命し岡崎開業醫の出張を促し同醫を以て補充するも尙ほ其不足を告げり恰も好し中央赤十字社醫員看護婦醫科大學教師すくりばの一行及第一高等中學校醫學部の醫員慈惠醫院醫員の一行

竝に明治生命保險會社醫員追々出張あり茲に於て始て醫治の普及を見るを得たり而して被害の輕微ある三河國より警察官を徵し補助せしめ連宵専ら人民安堵を計れり是れより先き 天皇 皇后兩陛下此震災を聞食され罹災人民御救恤として金一萬三千圓を下賜ひたるを以て知事は之れを管下に告示し且つ郡長に訓令して優渥ある聖旨のある所を人民に懇篤示達せしめたり 天皇陛下は特に侍從侍醫を差遣はされ親しく被害郡市を廻視せしめらるゝを以て侍從へは參事官原川權平竝に關官警部を隨從せしむ又侍醫は中島郡與村に於て懇切に負傷者を治療し直に岐阜縣に赴き内閣總理大臣は秘書官内閣書記官及内務省縣治局長等を隨へ來縣し親しく被害地を巡視し且つ病院其他郡の治療所に臨み負傷者を慰問せり

堤防の陥没道路の壞裂橋梁の破損甚しく臨時急施を要するものは常置委員會の決議を経て孰も施工に着手せり又此震災に附きて支出せし備荒儲蓄金市部にありては已に百分の五を供用支出せるを以て中央備荒儲蓄金の補助を内務大臣大藏大臣に具申するに至れり

○名古屋市震災後商況　名古屋商業會議所の報告に係る同市震災後の商況は左の如し

(明治廿五年十一月二十四日官報)

今回當名古屋市は激烈の震災に遭遇し荒涼悲惨實に名狀すべからず隨て商業上に著しき影響を來し此際豫め盛衰を鑑査せざるべからずと雖も震動未だ全く歇まず目下尙は人心恟々として寢食を安せず非常に混雜を極むる折柄あれば到底精細緻密の調査を遂ぐるを得ず今僅に震災の當日即ち去月廿八日以後去る三日に至る一週間の實況により商業上の損害及其商況の概要を査して之を左に掲ぐ

米　地賣米は震災前一週間賣上高平均豫算額は二萬三千三百三十二圓ありしが本週間の賣上額は二萬七千九百九十九圓にして其増すこと四千六百六十六圓あり其相場は震災前に比すれば凡そ五七合方引締り災害地へ弗々賣行市内搗米屋口も月替りのこと故買人も多く從て株立小口とも成るへく取引せしも引續き上走りも亦く北國及伊勢地方より玄白米とも弗々入荷ありて市況差したる變動あり(去る二日)新古玄白米とも續々着荷あり未だ荷嵩の姿に至らざるも當市搗米屋口も稍々買薄らぎ人氣も自然落付き品に依り二三合方小緩の模様あり



雜穀 雜穀本週間の賣上高は震災前に比し四千二十圓を減せり大豆類は一向に取引あし搗麥類は弗々賣行手堅き景況あり

材木 材木は震災の爲め頼に需要を増し價格昇騰し差當り需要の多きは杉板四分六分のもの丸太類あり此等の品は三割餘の騰貴を現し其他杉角明檜角及六寸以下丸太竝に杉皮の類は二割餘の騰貴を現せり尤も建築用材は前途需要頻繁の見込あり

竹 目下相場區々あるも震災の爲め需要著しく増加し前途尙は頻繁の見込にて平均價格二割強の騰貴を現せり

味噌醬油 近頃米價小締りに連れ味噌は多少に堅き氣配ありしが今回の震災にて美濃罹災地等は多く需要を當市に仰くの姿あれば先き行賣れ口宜しき見込にて氣勢頗る強き景況あり隨て醬油も幾分か引締りたる儘強氣に持合へり

薪炭 追々需要を増すへき季節に際し多少荷動きありて稍々手堅き摸樣ありしも一朝震災に遭遇し無数の潰家を生し隨て不用古材木夥しく爲に薪の需要頼に途切れ炭も亦之に準じて甚だ不捌けの成行にて此先何程の入荷あるも到底持合

の儘荷動きあゝく氣配きはい一變餘程不味を示すに至るべし

油 未だ取引あきを以て實地の相場は分らざるも先づ強氣に持合へり市内の需必要は平日に比すれば石油の賣れ行途切れたるに依り幾分か増加したるも其割合に需要高少あし併し此先の賣れ行は宜しき見込にて隨て好氣配きはいあり

鹽 震災後美濃地のためには幾分か賣れ行宜しからんとの見込にて少しは強氣に持合へり

砂糖 本品は相變らず落付の景況にて賣行不進ありしが別段震災の影響もあゝく混雜こんざつ常に復せは商勢も亦隨て恢復する見込あり尤も地賣は目今途切れ居る姿すがたにて前途の賣れ行も幾分か減少するあらん

棉花 本品需要先の多額あるは紡績を以て最とし其他市内の小賣他地方への輸出あれども今回の震災に附き其販路も途切れ入荷とてもあゝく目今持合の儘にて更に荷動きもあゝく賣方は頗る弱氣あり

綿絲 本品縣下第一の需用先は中島郡あるが今回同郡は非常の災害さいがいを被りたるが故大に商勢を挫けり其他荷動き中絶氣配沈着の姿あれば災後の賣れ行は著し

く減少すべき見込あり

蠶絲 別段變化あるも震災のためには弱氣を含み前途不捌けの成行あり

呉服太物洋段物 需要季節に向ひ少しは手堅く持合居たりしが震災の爲め頓に氣配を弱め地賣は途絶へ他地方への取引も薄らき災害の影響著しき方あり其内太物の如きは他地方への賣れ行多き故目下震災のため商勢を挫きたるも日あらず恢復すべき見込にて持合居れり

酒類 米價小堅きたり多少強氣を現し居たるも震災のため一層引締り相場に一割強の昇騰を示したるが尙ほ此先賣れ行最も宜しき見込あり

蠟燭 震災に付き蠟燭は非常に需要を増し持合せの分は悉皆賣出し目下入荷多からさるため品拂底とあり殆ど皆無とも謂ふべき有様なれば漸々相場昂騰の一方に傾き居れり蠟も亦之に準ず殊に美濃地方の震害と云ひ前途大望を添へ頗る上氣配あり

藥種 和漢藥種は常に他地方へ輸出其七八分を占むるが故に著しき震災の影響あし隨て相場にも變化なく唯目今は沈靜の姿あるも震災の亂雜を終れば商勢常

に復するの見込あり西洋藥種も別に其影響あきが如し

陶器金欄畫 此二三箇月は賣れ行注文少き季節ありしか震災のため産地竈破潰し其製品多く毀損し隨て原品の拂底うちてを來せしにより頓に強氣つよきを現し前途繁忙の見込あり

陶器 産地の震災に付き製品逼迫し且つ持合せ品も多く毀損したるに依り價格三割乃至五割方の昇騰を現すべき景況にて前途の需要増加の見込あり

漆器 震災のため他地方よりの注文途切れたるを以て先づ年内は賣れ行の見込あり

漆液 此先漆器の販路を中絶したるを以て自ら不捌けの姿あり

銅鐵 震災のため頓に氣勢を強め差當り丸釘の如きは需要夥しく殆んど品切れの姿隨て價格大に騰貴せり其他建築用鐵物は價格に一割五分餘の騰貴を現し前途需要頻繁の見込あり銅真鍮器物類は五分餘を低落せり

瓦 震災の爲め需要頓に増し相場も三割乃至五割餘を昇騰し持合せ品は賣切れとありたる有様いひあれば入荷いひあるに隨ひ其昇騰の度合を低減するあるべし併し此

先餘程の入荷あるにあらざれば充分に需要を充たす能わざる見込にて氣配最も強し

壘表 震災後美濃地のため幾分か賣れ行宜しからんとの見込にて少々は強氣に持合へり

硝子 相場區々にて一定せざるも先づ震災のため此先平均二割乃至三割の昇騰を來すべし尤も目下需要多く前途尙は一層頻繁の見込あり

桶 本品震災前一週間の賣上高平均豫算は千五百五十五圓ありしか震災後は三千三百三十三圓にして千七百七十八圓を増せり製造元に於ても職工賃二三割餘の昇騰を來したるがため自ら價位を進め此先賣行き最も宜しき見込あり

煙草 別段影響あらず依然沈靜の姿あり

紺屋 追々繁忙の季節に向ひたる折柄震災に遭遇し頓に閑隙とありて前途大に望を失ひたる景況あり

乾物生麩 災後一層不景氣あり

佛壇佛具 賣れ行注文全く途切れ此先最も不捌けあり

西洋小間物 別段影響ありし

玩弄器 本品は他地方より輸出其半を占むるを以て震災の影響あきか地賣品は暫く途絶の見込あり

肥料 麥肥の季節に際し米價の昇進と産地高等のため漸々高直に押上げ強氣を唱へしも取引は捗々しからず唯小堅く持合居たりしか今回の震害にて頓に望を失せり然れども氣配は左のみ悪しからざる模様あり

### 名古屋市被害の概況

名古屋の震動は其初め轟然一發市民の睡夢を覺破せしめ凄じき音響を傳ふると同時に墻壁崩れて瓦石は飛散し暫時は物色をも辨せざりし程なれば市民は或は老を扶け幼を携へて戶外に逃れ出るもあり或は之か爲め却て負傷するものあり座して生を全ふするものあり悲鳴號哭の聲四方に起りて親子相救ふに遑あらず夫妻相扶くるの隙あらず此の一瞬間市内に死亡者を出せしこと百八十七人の多きに及び負傷せし者亦算みく其慘狀實に名狀すべからず而して初震既に收まるも尙ほ時々震動歇まざるより十六萬の市民は更に屋内に入ることを得ず街頭に

假小屋を造り障子襖疊類を以て四方を圍み、雨戸桐油の如きものにて屋根に代へ、茲に起伏して儘に雨露を凌ぎ、破鍋破釜等を集め來りて漸く炊事を爲し、戰々競々として再び大地震のあらんことを恐れ、未だ其堵に安んぜず、其狀は一見酸鼻に堪はず斯かる有様あれば、夜は一戸として眠る家あく高く提燈を掲ぐるあり、行燈又は燭燭を點ずるもあり、且放火の恐れあり、夜に入れば市中到る處打鉦を鳴し、松を焚き家々を警衛して、恰も戰場に異あらず、其假小屋を營みしもの、最も多き場所は巾下の江川以南の路上、同以北の裏地、武平町以北、本町筋の片端より廣小路に至るまでを、最も其他南は末廣町の若宮神社及び大須の觀音境内、旭廊各町、古渡近傍等北は師團近傍の廣地、東照宮境内、憲兵本部地内等、其他空地、潰家跡等あり、倒潰の家屋にて其重あるものは郵便電信局、名古屋停車場、縣會議事堂、秋琴樓、電燈會社、師團司令部、及各兵營舍、劇場、新守座、愛知監獄内、工場、五棟拘置監、一棟炊事場、一棟等あり

此劇震により罹災者の中には自力を以て生活し能はざるもの數多あり、救助を受ける者最も多し、既に名古屋市役所にて設けたる救難所は、即ち富澤町の聖徳寺、東

外堀町、西外堀町(各一個所)榮町(二個所)新柳町(二個所)笹島東別院等の數個所あり  
名古屋市は中島郡、葉栗郡其他尾州西北部の各郡に比すれば其災害の度稍や軽く  
從て道路龜裂人畜の死傷等甚だしきに至らずと雖ども全市二百七十七ヶ町の内  
二百六十二箇町までは害を被らざるゝし内彌宜町、花車町、押切町、八坂町、新道町、隔  
田町、蘇鐵町、榮町、清水町、大曾根町等最も甚たしとす其一部の塙牆倒れ壁瓦落ち家  
屋傾斜する等の損害は全市四萬三千餘戸殆んど之れを被らざる者あしと云ふ  
倒家の下より出火に至り又は至らんとせしもの全市二十ヶ所の多きに及びたれ  
ども吏民協力大火に至らざりしは此際に於ける幸ひと謂ふべし京町藥種商村松  
五郎同小島喜八の兩人方は倉庫の棚に藏置したる劇藥入瓶子數多墜落し化學的  
作用を起し發火するや其勢猛烈にして兩人方も土藏一棟づゝ燒失警察官の指揮  
に依り公私消防組に於て消火延燒に至らしめす其他赤塚町に於て民家二戸燒失  
したるのみ他は悉く局部に於て消滅せしむるを得たり

### 監獄被害

名古屋監獄は震動の當時服役囚は已に各工場にありしが周章一方あらず工場忽



ち倒潰燐寸工場及炊事場の如きは倒壊の下より黒烟を發したれば吏員は死力を盡して消止むるを得たり此變災に乘し囚徒反獄逃走等を慮かり之を棚内に押送し又一方刑事被告人は發震の初め扉を開き難を避けしめたる等咄嗟の處置混雜せしが刑事被告人には幸に死傷あかりしも其他の囚人にて壓死十二人重傷八人輕傷八十八人を生ぜり

而して吏員は看守押丁女監取締等にて五人の負傷あり建物は全潰八棟半潰三棟大破十四棟小破四十八棟にして全部損壞せざるを其他牆壁備具品等の毀損少からず

負傷者治療は監獄醫の外第三師團醫官三人看護長藥品綑帶等を携帶出張幫助ありしため速に行届きたり

又工役分場は何れも工場に於て服役中ありしが震動の起るや直ちに屋外に避けたるを以て幸に死傷を免れたるも建物の全潰四棟半潰三棟大破二棟小破十棟にして全部毀損せざるものありと云へり

### 名古屋郵便電信局被害

名古屋郵便電信局は煉瓦構造の建物にして榮町に巍然たるものありしが大地の震動に耐へ兼ね二階以上の煉化崩壊し信書を没し器械を損し一時電信不通である又火鉢にありし火氣散亂し方に大事に至らんとするを認め警察官に於て警防せしも煉化堆積の下にありて延焼せんとする模様ありて容易に鎮火に至らざりしが工兵二小隊の援助に依り信書金員切手器具等を取り出し煉化を取外け濯水せしを以て焼失少く消正するを得たり

又震動の時刻は六時過ぎありしを以て未だ局員出務せず六時發の信書は集配ども出切りありしより公衆の損害少く局員は宿直吏員三名集配人一名壓死技手二名助手一名集配人一名辛ふして局外に出でたるも墮ち掛る瓦石の爲め負傷せり

又本局の西側住吉町民家の婦人周章避難の爲め道路へ馳せ出すや不幸にも本局の煉瓦崩れ掛り壓死したるもの二人ありと云ふ

### 第三師團の被害

第三師團は舊名古屋城に在り築城の堅牢鞏固ある數百年を経るも城外の石垣等

未だ曾て一回も崩潰せしことあかりしに今回の震災は實に非常にして城池の石垣數ヶ所大に崩潰し師團司令本部より東名古屋城の東南部ある城溝畔の石垣及び練兵場に添ひたる處一面に割目を生じたれば一朝大雨の至るあらは城溝全潰せんかと思はるゝ狀況あり又城内所々の石垣土塀は崩潰し門は傾き兵營の庇は落ち小櫓も傾きたる由あるが天主閣は金鯢晃々として雲際に聳ゆるも些の傾もあらず又大破もあらずには人々感服せり第三師團本部は煉瓦造りありしが煙筒は倒れ屋根は傾き所々大破して備に倒潰を免れたり然るに兵營は一も倒潰せず只添家の數棟倒潰せしのみ左に桂師團長より陸軍省への報告書を掲ぐ

第三師團長の報告 一昨二十八日午前六時三十八分突然鳴動して不測の震災を來し僅か八九分間にして別紙略すの箇所倒潰せり此際各兵難を其管内に避くるに當り歩兵第六聯隊にて下士一名兵卒九名歩兵第十九聯隊にて下士一名兵卒四名合せて十五名の負傷者を出せり依て重傷のものは直に入院治療をあさしめ其他の傷者も速に手当を施せり此震災の頓發するや本官等直ちに登園し先づ兵員の營舎内に入るを禁し續て各部各隊を檢閲して衛戍の人員を増加し以て警戒を一

層嚴あらしめ續て負傷者を慰問せり又之と同時に市街の慘を察し且つ衛戍地の安寧を保持せんが爲め全市を二分し西部を歩兵第十九聯隊其東部を歩兵第六聯隊の受持と定め晝夜數班の部隊をして其區域内を間斷るく巡視せしめ成し得る限り人民の救護に任ずべきを訓令して直ちに之を實施せり而して地方監獄の崩潰甚敷囚人の看守薄弱にして脱獄の虞あるを以て之か取締に任せしこと並に郵便電信局崩潰して信書其他器械局員等埋没し加之火氣を發し到底之を防ぐの術あきを以て共に地方官より救助を請求せり依て其求めに應し地方監獄へは歩兵第十九聯隊の内特に一中隊郵便電信局へは工兵二小隊を派遣して夫々應援を爲せり

從是往き地方病院に於ては醫師に乏しく爲めに負傷者の治療普からざるを聞き衛戍病院の軍醫數名を派遣して之か援助をあさしめたり

一昨二十八日午後四時西春日井郡枇杷島地方の震災頗る劇甚にして其家屋八分倒潰したるのみならず夥多の死傷者其屋下に在りて救助を乞ふも人夫缺乏して之を救ふの道なく剩へ出火は四方に起り實に名狀すべからざる故を以て又援助

を乞へり依て直に工兵一中隊を差遣して救援を爲さしめたり  
同四時二十分焚出救助の不行届を訴へ其援助を乞へり即歩兵第六聯隊より炊爨  
器具と之を使用すべき兵卒若干を以て二組とあし市下及び枇杷島地方に差遣し  
専ら其事に任せしめたり各兵とも當夜は營内空地に露宿を爲し夜を徹したり又  
巡邏に任したる各兵は民家の盜難を豫防し或は防火を爲し或は壓死を掘出し或  
は棟梁を伐採して傷者を救ふ等種々の救成を力めたり  
昨二十九日午前九時十分枇杷島及清洲地方の慘狀を述べ當地方廳より救助を乞  
へり依て工兵二小隊歩兵一中隊を差遣し専ら救援を施せり  
岐阜縣知事の需めに應し本日軍醫三名に治療器械及び藥品等を携帶派遣せしめ  
たり

本日午前九時迄に實施したる景況前文の通りに付此段申進候也

(右明治二十四年十月三十日報告)

### 愛知病院の慘狀

愛知病院も震災の爲め病室は殆ど皆破壊傾倒し藥局も全く破壊せし程あれば取

敢へず園内に假病室かりびやうしつを設け又院内の廣庭ひろはばには數十の天幕を張り數千百の負傷者を診斷治療しんだんちりょうせり其足を折り手を碎くだき頭を破やぶりたる重傷者は此數十の天幕の裡に充満して呻吟苦鳴しんげんくめいの聲絶たゆる時あし是れ尾張紡績會社の負傷者にして會社より三名の役員出張して之れを看護かんごし居れり同會社の負傷者は重たきに工女にして其負傷たる十中八九は面部めんぶ若くは頸部くびぶに在り醫師の説明せつめいによれば何れも煉瓦のためために打たれしを以て中には骨の挫くづけたる間に「セメント」の入り込みて之れを除くこと能はざるものありと云へり其狀は目を掩おほふばかりあり又日本家屋の潰れたるため傷を負ひたるものは重おもきに脊骨腰骨等せせつこしほねを挫くじき或は手を折りたるもの多しといふ嗚呼誰か愛知病院を訪とふて泣かざるものあらん吾人は未だ戰場に於て負傷者に手當するの有様を實地に目撃もくげきしたることあしと雖も這般このはんの慘景は實に戰場の裡うちに在るかを疑はしめたりといへり

### 好生館病院の慘狀

好生館は名古屋城西樋の口町にあり故陸軍々醫監横井信之氏の設立せつりつせしものゝるを以て今に横井病院と呼ぶものあり其建物は潰倒くわいどうの難を免かれしを以て現院

長ドットル北川乙次郎氏副院長醫學士佐藤勤也氏は力の及ばん限り負傷者を引受くべしと誓ひ醫員を督勵して晝夜を捨てず手術を施し居れり其當時同院にて二百三十八人の負傷者を治療したる中死亡したるは僅々二人のみあり又松方總理大臣は名古屋地方の被害を巡視し岐阜に向ふの途次殊に此處に臨みて北川院長の功勞を賞し病室に就きて一々患者を慰勞したりと

### 尾張紡績會社の被害

尾張紡績會社は愛知郡尾頭町に在るも名古屋の接續地中尤も接近の地あるを以て人多くは名古屋の紡績會社と呼べり同會社は巍峨たる煉瓦構造にして規模宏壯を極め三百馬力の蒸氣罐を据へ千名内外の工女晝夜交代して業務に従事するの制規あれば二十八日も例の如く數百の工女は晝夜の交替を爲し午前六時恰も一齊業に就きたるの時に方り突然大震動を起し初めは蒸氣機關の運轉する響きにて更に地震とは心付かざりしが忽ち宏大なる煉瓦屋は破壊して家根は工場の真中に墮落し煉瓦は四方に飛散して堆をあすに至りしにぎ工男工女は何かは以て溜るべき遂に三十五人の歴死者百二十三人の負傷者を出せり愛知病院にては

直ちに醫員を派出せしも何分一時に多數の負傷者を出せしことあれば手筈行届かず僅に假手當を爲して續々愛知病院へ送り届けしが後の調査によれば其人數は七十五人ありしと云ふ斯る状態なれば先づ死者は一方に片附置きて負傷者の手當にのみ全力を盡せしも醫師は或は遁れ或は藥瓶を破壊して治療を施す道なくまた人足は自家の爲めに奔走して來る者少あく實に如何ともすること能はず鮮血淋漓たる工女の顔は膨れ体は疲れ或は手足を折り或は頭蓋を破られたるまゝ累々倒臥し居りしを見る其慘狀は譬ふるに物ゑし只暗涙に咽ぶの外あかりし

### 愛知郡被害の概況

本郡は名古屋以東の各村に於ては被害次第に輕微ありしも其西北に位する各村は益々激震を加へ現住戸數に對し家屋全倒の過半に及びし町村は下の一色村日比津村を始めし家屋の全潰半潰を合せ過半に及びしものは鷹場村織豊村岩塚村柳森村とす又熱田町に於ては大字羽城内田傳馬に於て甚たしく之を以て全郡の部合を見るに凡五分通は甚たしく損害を被りたり  
倒屋の下より發火せんとするもの熱田町に三ヶ町下の一色村にて三ヶ所日比津

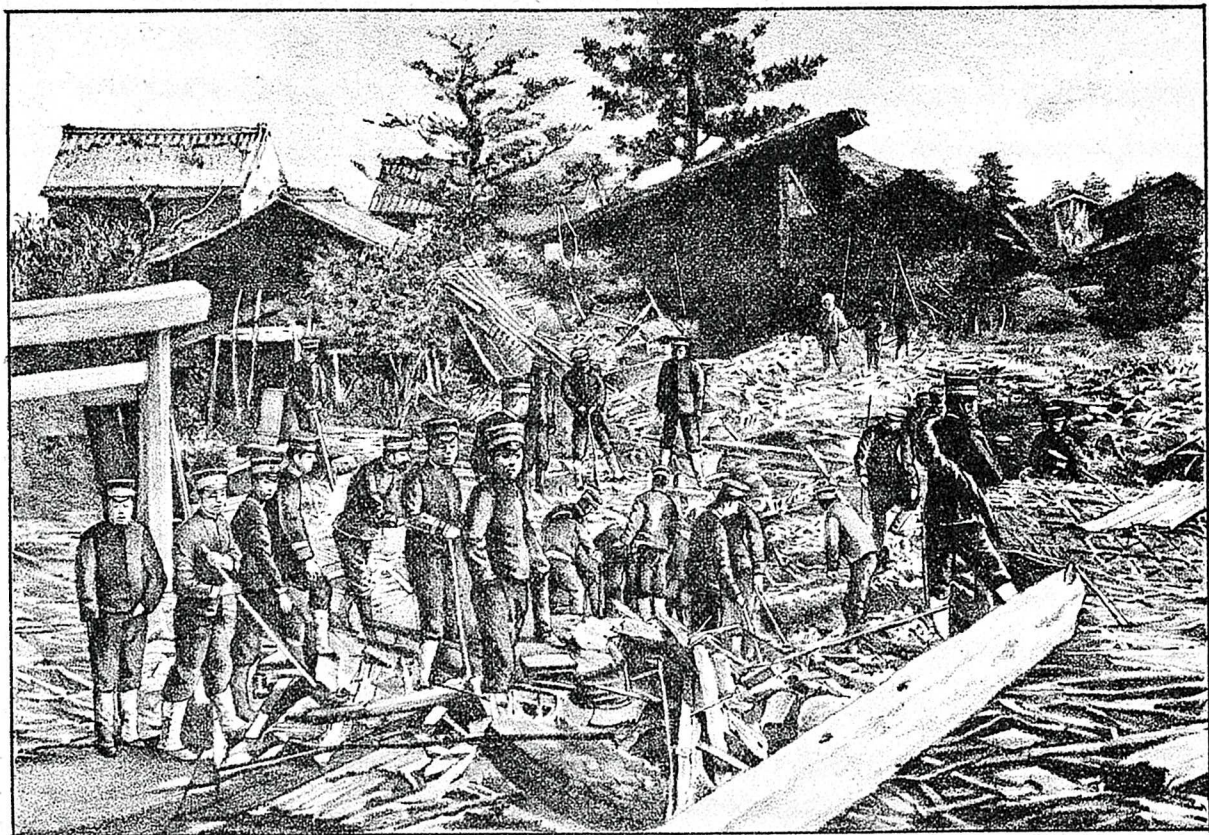


村古野村に各一ヶ所都て八ヶ所黒烟方に漲らんとするを警察官吏人民必死協力撲滅したるに依り幸ひに大火に至らず

溜池の破堤各村とも固より尠あからずと雖も甚だしきに至りたるもの一二を摘擧すれば廣路村猫ヶ洞と稱する周圍廿三町餘の大溜池の堤防崩壊し一時人家耕地數十町に浸水し田代村に沿ふ猫ヶ洞字上池と稱する東部堤防長六十間を破壊し其溢出の水勢下池に満水し爲めに下池堤防を漲溢し堤防五十間を破壊し人家に浸水し床上に至るものありて一棟流失せり耕地十余町歩浸水し近傍は悉く砂寄せとある又香久山村に沿ふ東部堤防二ヶ所各七間位破壊し池水汎濫せんとするを村民にて防禦せり

### 西春日井郡被害の概況

本郡の震動は最も激烈を極めたるものにして枇杷島町下小田井村清洲町の如きは其家屋の現存する者殆んど稀あるの慘狀を呈せり此他堤防の壊裂陥没甚だしく下小田井村地内に於て竹藪凡そ一反歩餘他の地盤に其位置を轉する等奇異の地變を顯したり又烈震中俄然裂口より湧水せし個所も又尠あからず且火災六ヶ



尾張國枇杷島於死士體掘出之圖

所に起り警察官消防夫の盡力中第三師團歩兵工兵の出張あり此助力を以て辛ふじて之を消止めたり工兵の指揮官飯田大尉吉田中尉非常の盡力にして町民一同敬服せざるはあし

### 丹羽郡被害の概況

本郡の震災は稍西春日井郡に髣髴たり東部の數村は稍輕さも岩倉西大海道小折犬山は頗る慘狀を極む且岩倉犬山に出火ありたるも速に消防行届き延焼の害大あらざと雖も死傷甚だ多し又道路堤塘は各所に凹凸を生じ或は陷落して舊形を變ずるもの尠からず而して井中は土砂を噴出し其用を爲すもの殆んど稀あり

### 葉栗郡被害の概況

本郡の慘狀は黒田北方玉の井の各村尤も甚しく地盤は到る處劈裂し中には裂口より高さ三尺以上噴水せし個所もありたり又木曾川堤防の如き殆んど皆破にして甚しきは陷落の爲め平地と高低を同せり一朝出水あらは全部忽ち木曾川流域たるを免れざるの虞あり

### 中島郡被害の概況

本郡の震災は葉栗郡に彷彿たり其慘憺の著しきは一宮奥村起萩原祖父江村の各町村にして全町村舉て潰破の有様あり

### 海東郡被害の概況

本郡は西春日井中島葉栗に比し被害は強からさりしも中央より東北部に掛け其害多く津島蟹江萬場等は一層慘狀を呈し道路堤防橋梁の破損甚た多し殊に津島町に出火あり焼失の建物少るからすといふ

### 東春日井郡被害の概況

本郡の過半東部に位する各村の被害は比較的稍や輕微にして全部上より觀察すれば凡三分通の被害とす被害の尤も甚たしき町村は小牧町岩崎村とす此兩村は丹羽郡に接し本郡西北に位する震動の中心部にあり又瀬戸焼の本元たる瀬戸村近村にありては右兩町村に次く被害のみあらず燒竈悉く崩壊し殆んど微塵に歸したるを以て商業上の損害は縣下にて莫大と云ふへし

### 海西郡被害の概況

本郡一圓多少の災害を被らざるものありと雖も海東郡に牙入する開治村八輪村

六ツ和村等數村は家屋其他の物体を崩潰する夥しく其他南部に沿ふに從ひ次第に弱震とあり家屋建物の轉倒地皮の龜裂輕微あり然れども木曾川筋及び其支流に屬する堤防は中島葉栗等の各郡と同しく崩壞甚たしく從て水防危險を示したり

### 知多郡被害の概況

本郡は尾張國中南海に突出したる岬にして震脉最も緩慢ありし部分あり然れども郡の西北にある各町村は被害の個所多きものと如し既に有名の常滑陶器竈は非常の損害を蒙り之れが修繕を爲し製陶に着手する迄は數日を要すといふ以上尾張國各郡の外三河國一圓は被害極めて輕きを以て茲に之れを省けり

### 第十九章 各地震災彙報

#### 福井縣廳より震災の報告

福井縣に於ける震災の景況は十月廿八日鷄鳴より天色朦朧恰も四顧を蔽ふが如くありしが午前六時四十分に至り轟然として地大に震ひ屋上の瓦石を飛散し家屋土藏社寺學校等の建物を潰倒破損し屋壁廊廂門塙を墜落或は破壊し山嶽を崩



壞し道路堤防其他の土地を缺壞或は陷落若くは線裂し老少は相助けて難を戶外に避け或は周章狼狽の中誤て負傷し又は壓死する等實に眼前の慘狀見るに忍びざりき而して縣下に於て其最も劇震ありしは越前國福井市及足羽郡にして特に被害甚しく之に次くものは吉田郡及今立大野阪井の三郡とす他の各郡に於ては稍々震力の輕弱ありしものゝ如し其後は別に劇震あさも天氣兎角險惡にして晴雲更に定りあく時々しんどうきやうしんの震動強震を交へ又暗に響の發るを以て人心恟々恐怖の餘種種の妄想を起し訛説を傳へ頗る不安の情況を呈し家屋到潰せざるものも皆街頭或は田圃河原等の空地に露宿し偶々家屋に在る者も戸障子建具を開放して避難を便にせり是より先き早く警戒を加へて湯屋鍛冶屋等の焚火を止め夜間洋燈を用ひざることを諭せしにより各戸總て提灯を用ひ交互出火の虞あからんことを注意せり家屋潰倒の甚だ夥多ありしは足羽郡木田村にして一大字に於て七十七戸福井市も亦一町内に二十一戸之に半潰を加ふれば三十七戸の多きに及へり官衙學校等の重ある被害は縣廳内に於ては土藏の半損及破損あり福井地方裁判所に於ては人民控所を監獄署に於ては工業場を潰倒し囚徒には死傷あし尋常師

範學校は其全體破損し中學校は化學器械室及倉庫破損し其他小學校の潰倒或は破損ありたるも生徒登校前のことありしを以て皆其災害に罹らざりしは誠に不幸中の幸福と謂ふへし

又福井市及足羽吉田大野三郡内に於る罹災者中赤貧にして將に生活の途を失はんとする者には直に焚出米等の手當をゐし夫々救助を施行せり爾後二十九日以來漸々強震の度を減じたるも時々地震今尙は歇まず或は暗に響を聞く事數回にして間々又強震あるのみならず或は強風劇雨とあり又或時は氣候最も暖に過ぎ恰も梅雨の如き觀を呈して電光雷鳴交々起り終に落雷するに至る等氣象の變遷常あらざるに因り各自未だ危懼の念を斷つに至らず尤も是より先き震動期荏苒數日の久しきに彌るを以て各々其防禦に注意を加へ去月三十日より三十一日までに大概平常の如く業務に就き且つ破損修補に着手する者あるに至れり

其他山嶽の崩壞橋梁の損落道路堤防田畑等の缺壞陷落或は龜裂をみせし箇所實に夥しく中に就き大野今立二郡に於て其最も變動の甚しきを見るは蓋し今回震災の中心たる岐阜縣下大野郡等に連接する故あるべしと云ふ而して若狹國一圖

は越前國に比すれば被害輕し十一月九日までの調査に係る被害の數を擧ぐるに死亡十二、負傷九十八、家屋全潰六百八十八、半潰八百八十四、破損三千三百八十、總計四千九百五十二、其他建物棟數全潰半潰破損を合せて計二千十一、道路の破裂箇所二百二、延長二千七百六十二、橋梁損落十二、箇所延長四十八、堤防崩壞三十九、箇所延長は千百二、山嶽崩壞箇所六十四、等但し道路の破裂堤防の崩壞は孰も長さ三間以上、ものを掲げ山嶽は縱横の別なく五間以上、ものを掲げり

### 石川縣廳より震災の報告

石川縣に於ては去月二十八日午前六時三十五分地震あり其震力甚た強く四分時間にて止む其後微震數回二十八日晝夜二十二回二十九日正午まで五回にして人畜に死傷あしと雖も近年稀ある強震あり罹災の多きは江沼郡にして大聖寺町の如きは家屋土藏納屋の全潰十二棟半潰四十三棟あり其他各郡市とも墻壁の墜落の如きは牧擧するに違わらず

### 三重縣廳より震災の報告

三重縣に於て今回の地震は北勢最も激烈にして南部に至るに隨ひ較々輕きが如



く伊賀國地方も北勢に比すれば甚しからざるが如し桑名郡死亡二人、負傷七人、家屋潰倒百九十一戸、同半潰四百二十一戸、堤防破壊及缺損三千八百七十一間、道路同百四十二間、樋管破損十一間

三重朝明兩郡にて負傷三人、家屋潰倒十七戸、同半潰十三戸、畜類負傷二、落橋一、奄藝、河曲兩郡にて家屋潰倒十一戸、落橋一、堤防破壊及缺損百十二間、道路同二百四十一間

津市負傷一人、家屋潰倒三戸、同半潰四戸

安濃津郡家屋潰倒四戸

一志郡家屋潰倒二戸、同半潰一戸、堤防破壊及缺損六十間

飯高、飯野兩郡にて家屋潰倒二戸

度會郡家屋潰倒二戸

阿拜、山田兩郡にて神社潰倒一

員辨、鈴鹿、多氣、名張、伊賀、答志、英虞、北牟婁、南牟婁郡は孰も未詳

### 滋賀縣廳より震災の報告

滋賀縣に於ては去月廿八日午前六時三十分頃地震あり激烈性質地平動にして家屋の破壊人畜の死傷等あり爾後時々微震歇まず其被害の概數を擧ぐれば住屋の全潰百七半潰百五十三土藏納屋其他建造物附屬物等の全潰二百五半潰百二十六同破損百九十四壓死六人負傷三十三人落橋一外に火災一回ありて就中最も慘狀を極めしは彦根長濱にして多くは田園等へ假家屋を設け以て震害を避け居れり

### 静岡縣廳より震災の報告

静岡縣に於て去月二十八日午前七時頃地震あり近年稀ある震動力にして遠江國長上郡掛塚村地内天龍川改修護岸堤馬蹈に於て凡そ長さ三十間腹附に於て凡そ九十間許幅凡そ六七寸の割目を生し犬走等毀損し豊田郡中瀬川地内及東海道筋見附町より濱松町に至る間諸所に破損あり鐵路の外潰家二三軒微傷者一二名あり濱松にも負傷者あれど人畜死亡あし

### 長野縣廳より震災の報告

長野縣下二十八日朝の地震は飯田町にて家傾き屋根及壁破損九土藏二階のみ潰れ二上諏訪町に潰土藏一潰家一あれど救助を要する程にはあし尤も強震ありし

は南郡伊那諏訪郡にして人蓄の負傷ありしも死亡無し松本は午前七時卅分より大凡十分間震動し建築物の破損あり尙ほ全日午前十一時同十一時五十三分午後三時半都合三回の地震あり高井郡中野町は微震ありしか去る廿四日以來群馬縣吾妻郡に在る白根山時々鳴動するとの風説あり南佐久郡は微震あり高井郡平穩村地方は三回の微震寒暖計攝氏十五度曇天ありし

## 第四編

### 地震研究

#### 第二十章 斯學の進歩

日本は有名ある地震地方あり之れを歴史に徴するに凡そ三十年乃至四十年目には必ず大震あり且其間にも多少烈しき地震ありて屢々國民を恐怖せしめたるは判明ある事實ありされば之を豫知し其災害を免れんと欲せば先づ地震とは如何あるものあるやを研究せざるべからず然れども古昔は地震に注意するもの甚だ少く且人々迷想多く或は理外のものありと想像せしと雖も近時大に地震の研究を深くし新智識を得たること甚だ多く益々之れに關する定則を發見するに至れ